

授業科目名： サッカー	教員の免許状取得のための 選択必修科目	単位数： 1単位	担当教員名： 大槻 茂久・奥山 靖彦・青葉 幸洋 福士 徳文・澤野 宏之
			担当形態： オムニバス
実務内容 (実務家教員の場合)			
科目	教科及び教科の指導法に関する科目 (中学校及び高等学校保健体育)		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 体育実技		
「学位授与の方針」との関係			
DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる(専門知) DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる(実践力)			
授業のテーマ及び到達目標			
授業の到達目標及びテーマ (1) ゲームの中で自己の技術の活かし方、向上させる術を知る事が出来る。 (2) 思考力・判断力・表現力を高める事が出来る。 (3) 仲間と協力して戦術を思考し、コミュニケーションの取れたゲーム展開が出来る。 (4) サッカーの指導方法の他、競技運営方法や審判法を理解し実践出来る。			
授業の概要			
サッカーは老若男女を問わず世界中で最も親しまれ、中学校、高等学校にて体育科の授業での教材として用いられる事も多いと思われ、保健体育科教員として、その指導法の習得が重要課題になると思われる。そこで、サッカーの本質を理解して基本的な技能や戦術を習得し、質の高いゲーム展開方法を学習する。また、サッカーの指導方法の他、競技運営方法や審判法を理解し実践するための方法などを伝えていきたいと考えている。			
授業計画			
第1回：(講義)ガイダンス、授業の心得、進め方、成績についての説明、競技規則について 第2回：コミュニケーション 第3回：W-UP,ボールフィーリング 第4回：シュート 第5回：ドリブル 第6回：パスとコントロール 第7回：守備 第8回：(講義)サッカーの原理・原則、ルール 第9回：状況判断 第10回：攻守の攻防・切り替え 第11回：(講義)サッカーの指導法・指導計画 第12回：指導実践① 第13回：指導実践② 第14回：ゲーム 第15回：筆記試験、まとめ 定期試験(実技試験)			
スクーリングでの学修			
実技を中心にサッカー技術・戦術・授業運営方法等を学ぶ			
テキスト			
ボールゲーム指導事典(G.シュテラー他、唐木國彦監訳、大修館書店、1993年)			
参考書・参考資料等			
ボール運動・球技の授業づくり(鈴木直樹他、教育出版、2010年)			
学生に対する評価			
スクーリング評価(25%)、レポート評価(25%)、科目修得試験(50%)			